

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平1-149627

(43) 公開日 平成1年(1989)10月17日

(51) Int. Cl. ⁵

識別記号

F I

G 0 3 B 11/04

審査請求 有 請求項の数 1 (全 2 頁) (5)

(21) 出願番号 実願昭63-47598

(22) 出願日 昭和63年(1988)4月8日

(71) 出願人 000000037

オリンパス株式会社

東 京

(72) 考案者 小笠原 裕司

*

(54) 【考案の名称】カメラ

(57) 【要約】

要約テキストはありません。

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 撮影レンズを露呈させる第 1 の位置と同レンズを覆う第 2 の位置との間で移動可能であるとともに、上記第 1 の位置にあるときには自己の所定部がカメラ

ラ本体から突出した姿勢となるように構成され、かつ上記所定部に被写体確認用窓が設けられたカバーを具備してなることを特徴とするカメラ。

【図面の簡単な説明】

図面の簡単な説明テキストはありません。

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

平 1-149627

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成 1 年 (1989) 10 月 17 日

G 03 B 11/04

B-7610-2H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 2 頁)

⑮ 考案の名称 カメラ

⑯ 実 願 昭 63-47598

⑰ 出 願 昭 63 (1988) 4 月 8 日

⑱ 考 案 者 小 笠 原 裕 司 東京都渋谷区幡ヶ谷 2 丁目 43 番 2 号 オリンパス光学工業株式会社内

⑲ 出 願 人 オリンパス光学工業株式会社 東京都渋谷区幡ヶ谷 2 丁目 43 番 2 号

⑳ 代 理 人 弁理士 藤 川 七 郎

㉑ 実用新案登録請求の範囲

撮影レンズを露呈させる第 1 の位置と同レンズを覆う第 2 の位置との間で移動可能であるとともに、上記第 1 の位置にあるときには自己の所定部がカメラ本体から突出した姿勢となるように構成され、かつ上記所定部に被写体確認用窓が設けられたカバーを具備してなることを特徴とするカメラ。

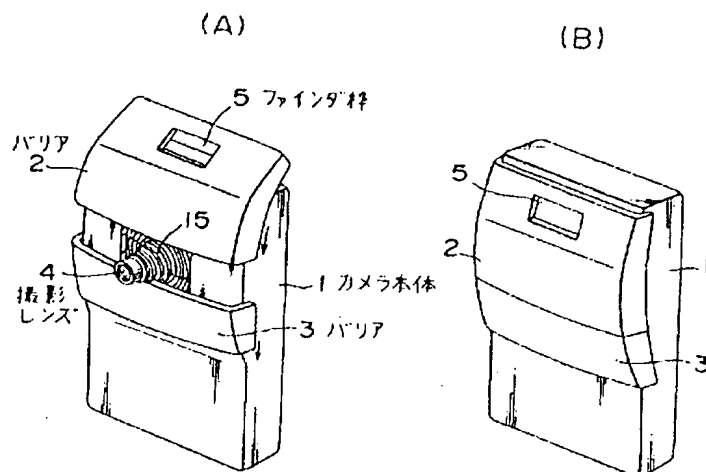
図面の簡単な説明

第 1 図 A, B は、本考案を適用した電子スチル

カメラの、それぞれ撮影状態、非撮影状態を示した外観斜視図、第 2 図 A, B は、上記電子スチルカメラの、それぞれ撮影状態、非撮影状態を示した縦断面図、第 3 図 A, B は、上記電子スチルカメラの本体内の一部を拡大して示した正面図、側面図である。

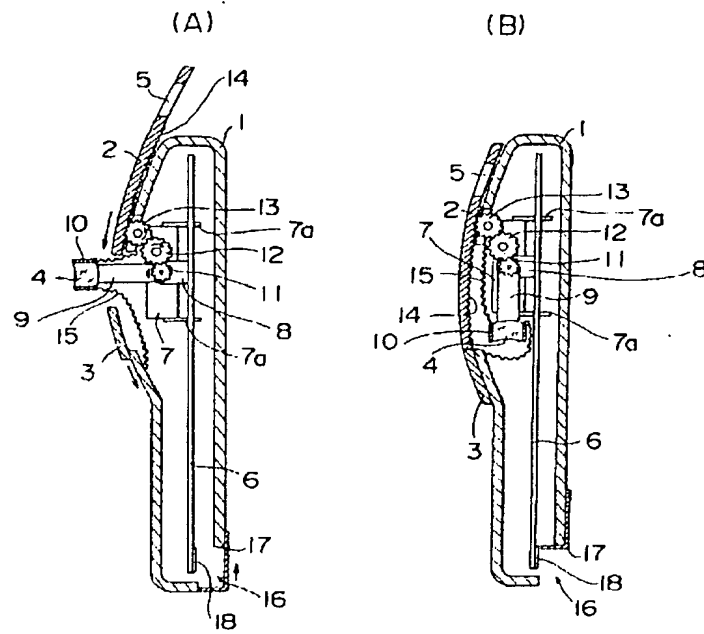
1 ……カメラ本体、2, 3 ……バリア (カバー)、4 ……撮影レンズ、5 ……ファインダ枠 (被写体確認用窓)。

第 1 図

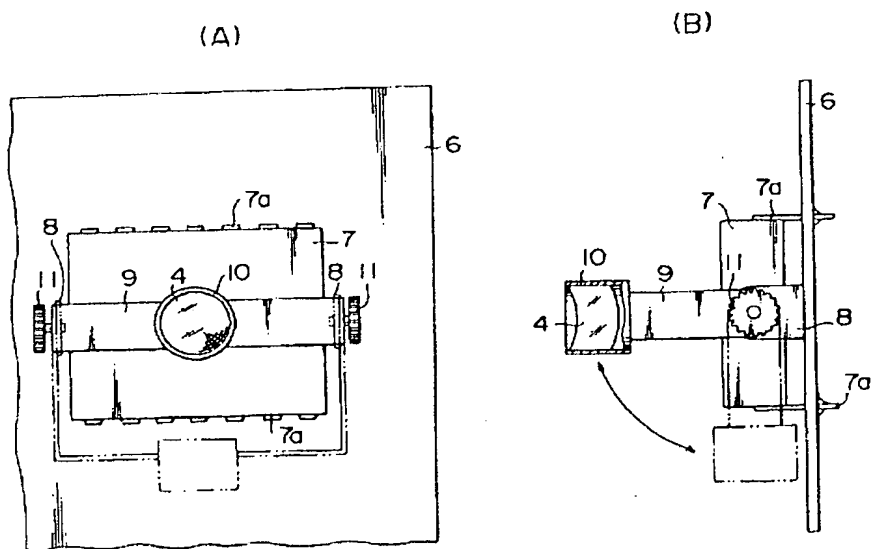


実開 平1-149627(2)

第2図



第3図



【考案の詳細な説明】

詳細な説明テキストはありません。